

## 東京都伊豆諸島に大雨特別警報を発表

10月9日06時20分に東京都八丈町に大雨特別警報を発表しました。  
これまでの大雨で、土砂災害の危険性が高まっています。  
大雨に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

<問合せ先>

大気海洋部業務課

電話 03-3434-9055

# 東京都伊豆諸島八丈町に 大雨特別警報を発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 伊豆諸島に暴風、波浪の特別警報を発表中

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
〜<警戒レベル4までに必ず避難！>〜	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

# 大雨特別警報を発表した地域

10月9日6時20分時点

都道府県	地域名
東京都	八丈町

現在、以下の町村に暴風、波浪特別警報を発表中  
利島村、新島村、神津島村、八丈町、青ヶ島村、三宅村、御蔵島村

# 東京都伊豆諸島八丈町に 大雨特別警報を発表

- 命の危険が迫っているため、  
直ちに身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度  
分布）」で確認

- 東京都伊豆諸島の八丈町に大雨特別警報を発表しました。これまでに経験したことのないような大雨となっています。
- 特に土砂災害警戒区域などでは、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当します。また、東京都の伊豆諸島には暴風、波浪の特別警報を発表している所があります。命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保しなければならない状況です。
- また、普段災害が起きないと思われているような場所でも最大級の警戒が必要です。
- 自分の命、大切な人の命を守るため、地元市町村からすでに発令されている避難情報に直ちに従い身の安全を確保してください。
- 地元気象台等が発表する地域に応じた詳細な情報を確認するとともに、今いる場所の災害発生の危険度を気象庁HP等の「キキクル(危険度分布)」で確認してください。

# 特別警報・警報の発表状況



2025年10月9日6時20分現在

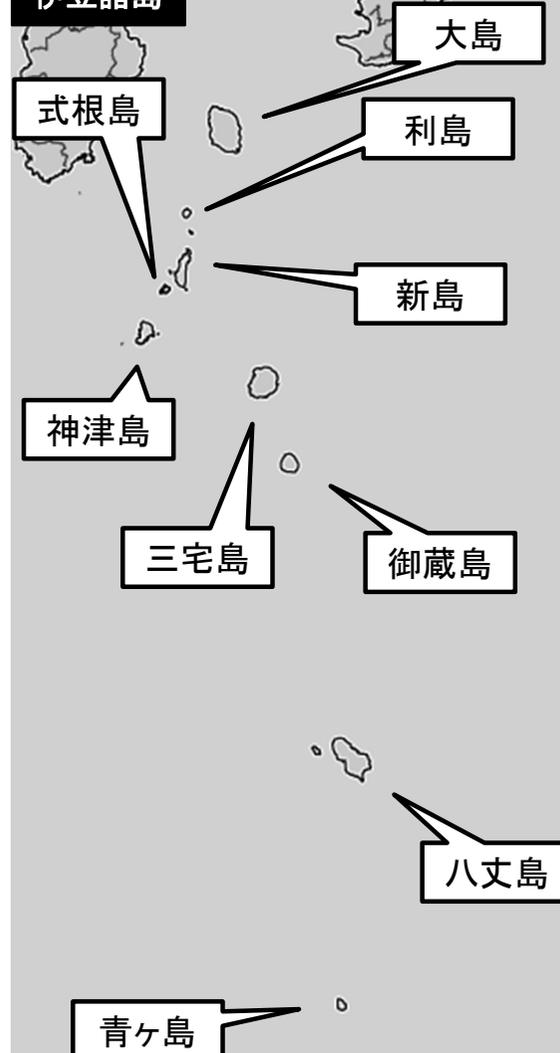


- 大雨特別警報
  - 特別警報(大雨以外)・高潮警報  
土砂災害警戒情報
  - 警報(高潮以外)・高潮注意報(\*1)
  - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(\*2)
  - 発表なし
- \*1 高潮警報に切り替える可能性が高い  
\*2 上記以外の高潮注意報

6時20分

八丈町大雨特別警報 発表

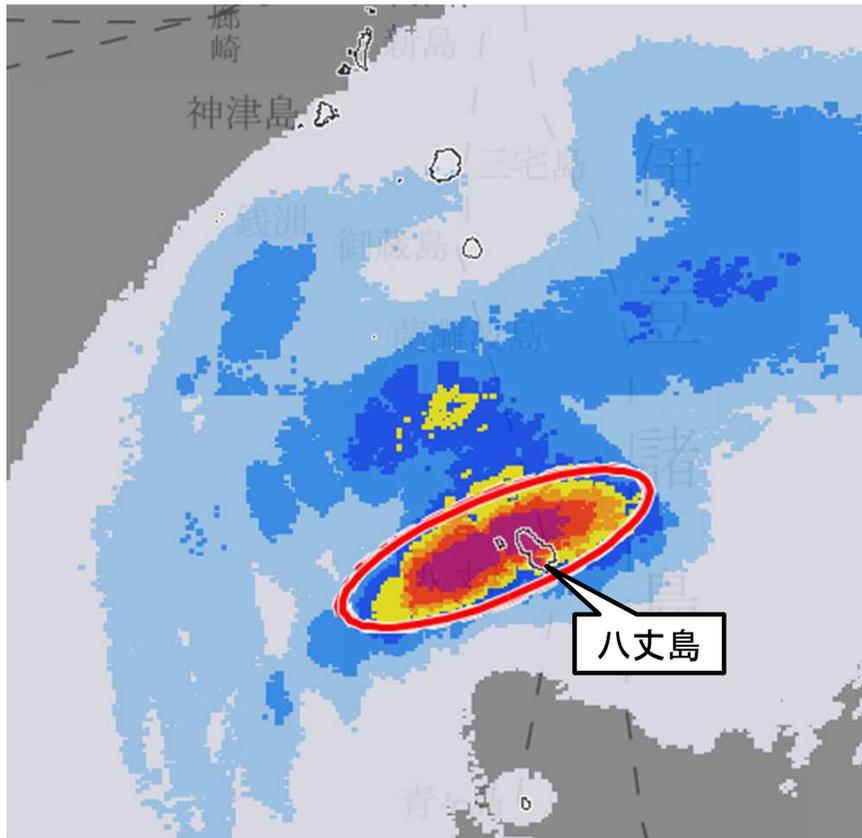
伊豆諸島



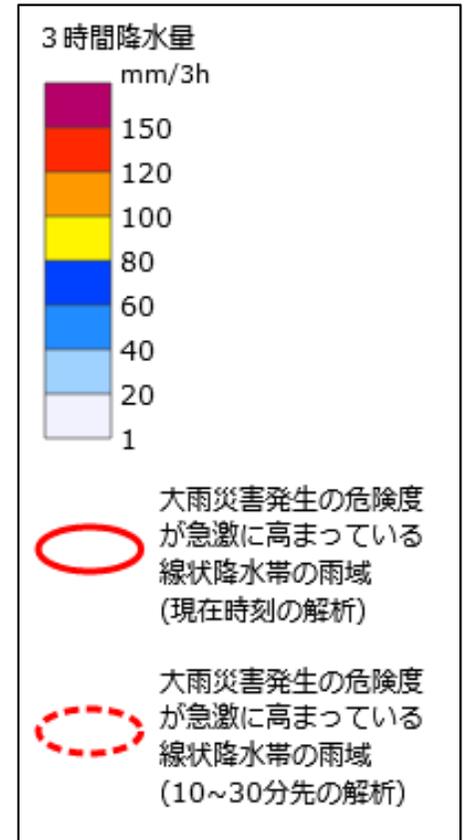
**特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。**

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

3時間降水量 2025年10月9日6時00分



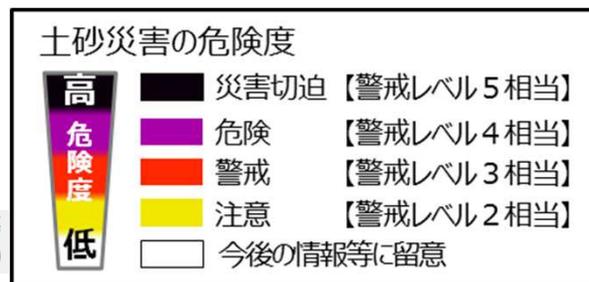
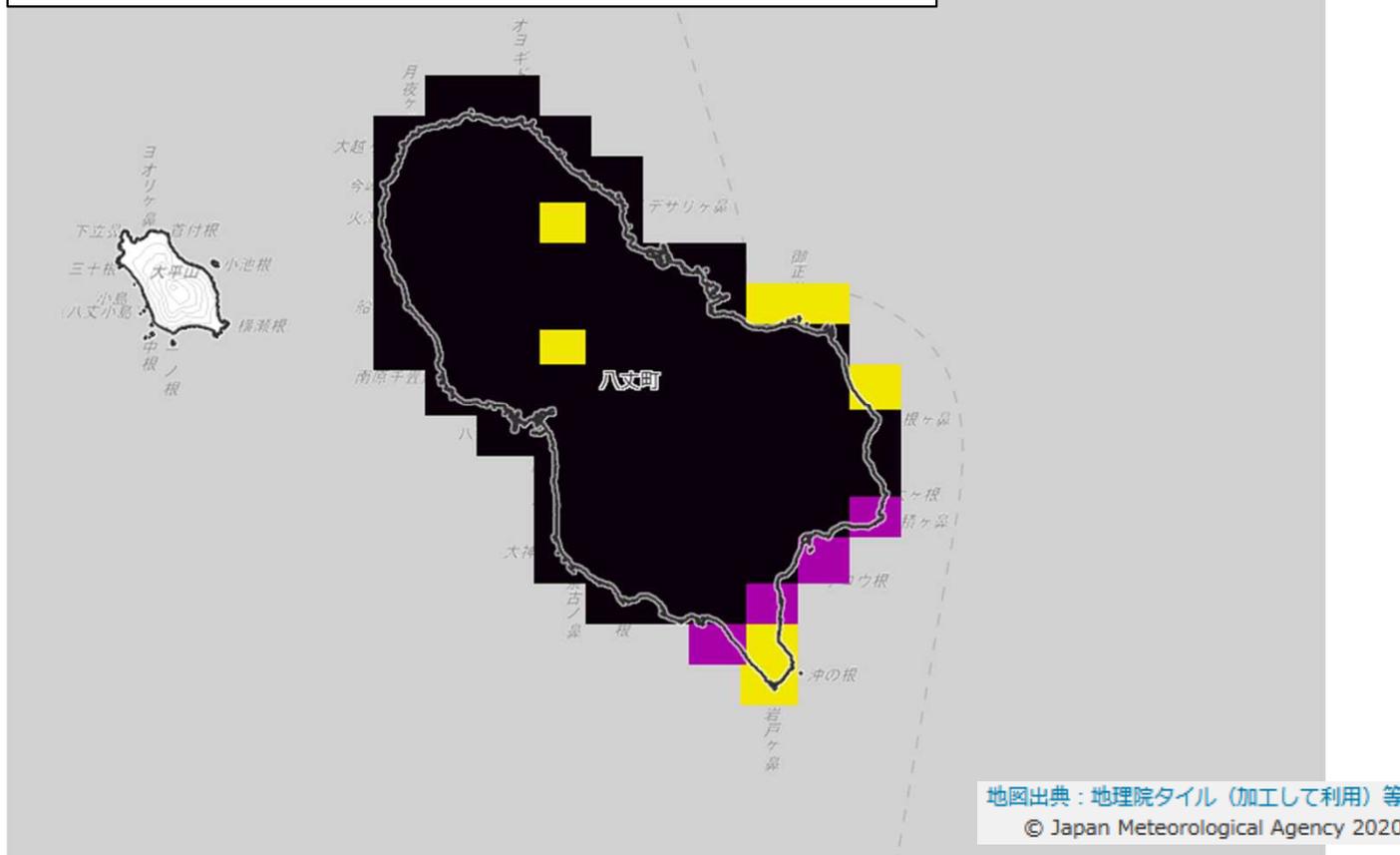
地図出典：地理院タイル（加工して利用）等  
© Japan Meteorological Agency 2020



- 線状降水帯が発生している地域では、命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。 危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。
- 線状降水帯の周辺地域でも、大雨による災害発生の危険度が高まっている場合があります。 線状降水帯の有無によらず、災害発生の危険度の高まりを示すキキクルを活用することが極めて重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

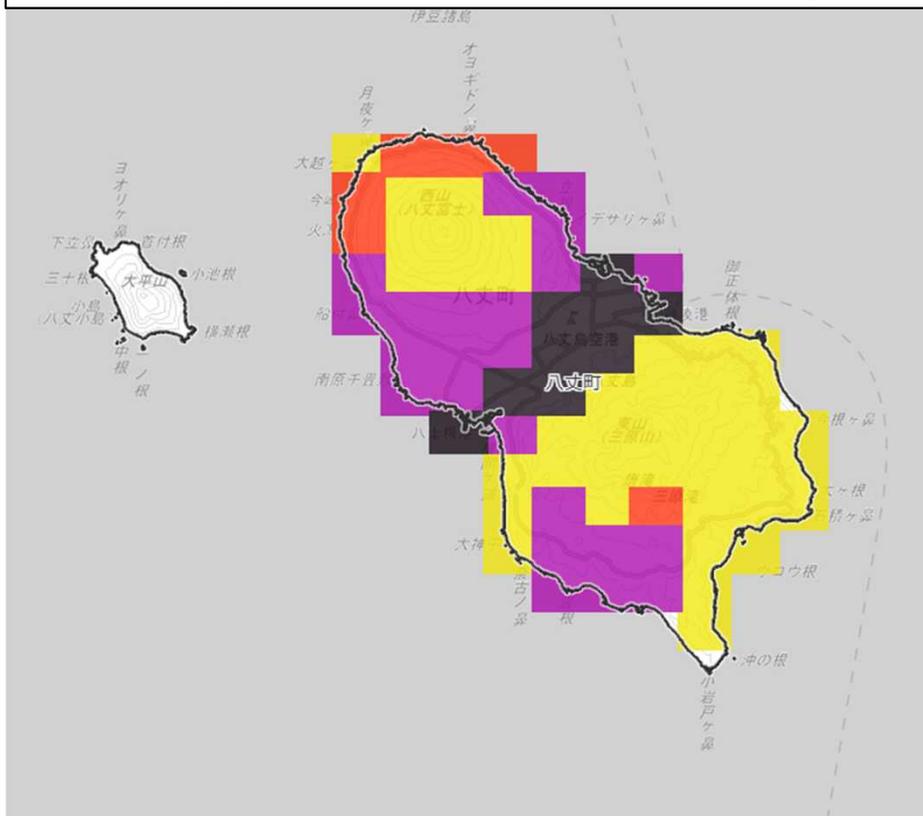
土砂災害 2025年10月9日6時40分



- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

浸水害 2025年10月9日6時40分



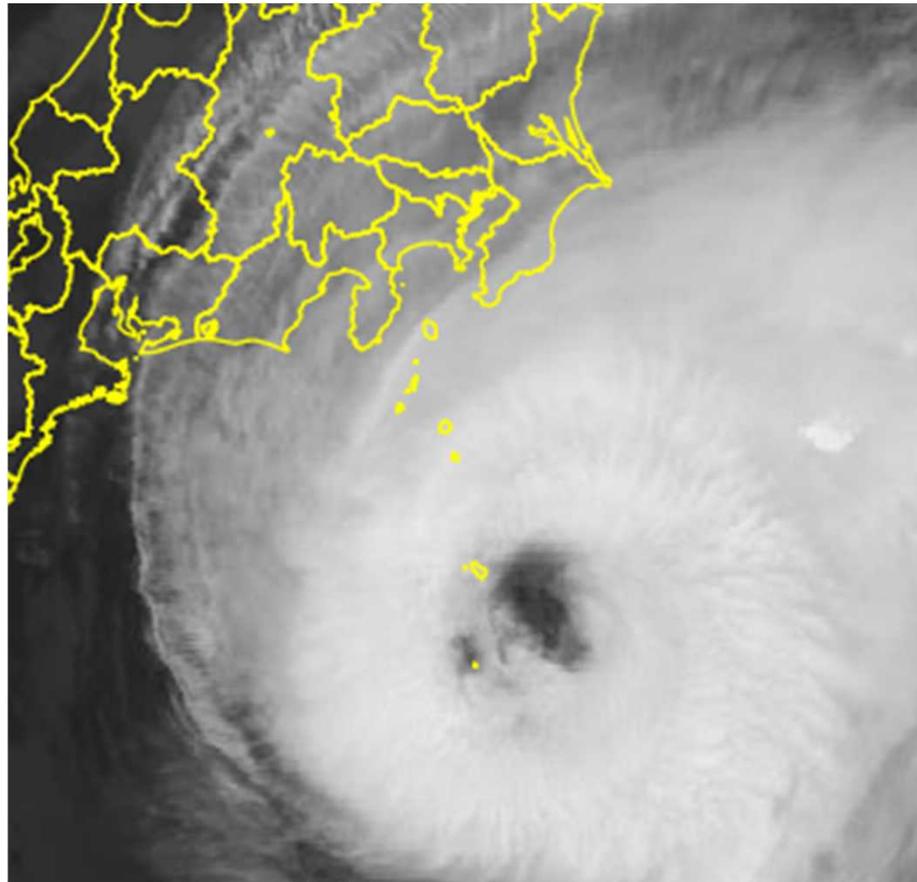
地図出典：地理院タイル（加工して利用）等  
© Japan Meteorological Agency 2020

浸水害の危険度

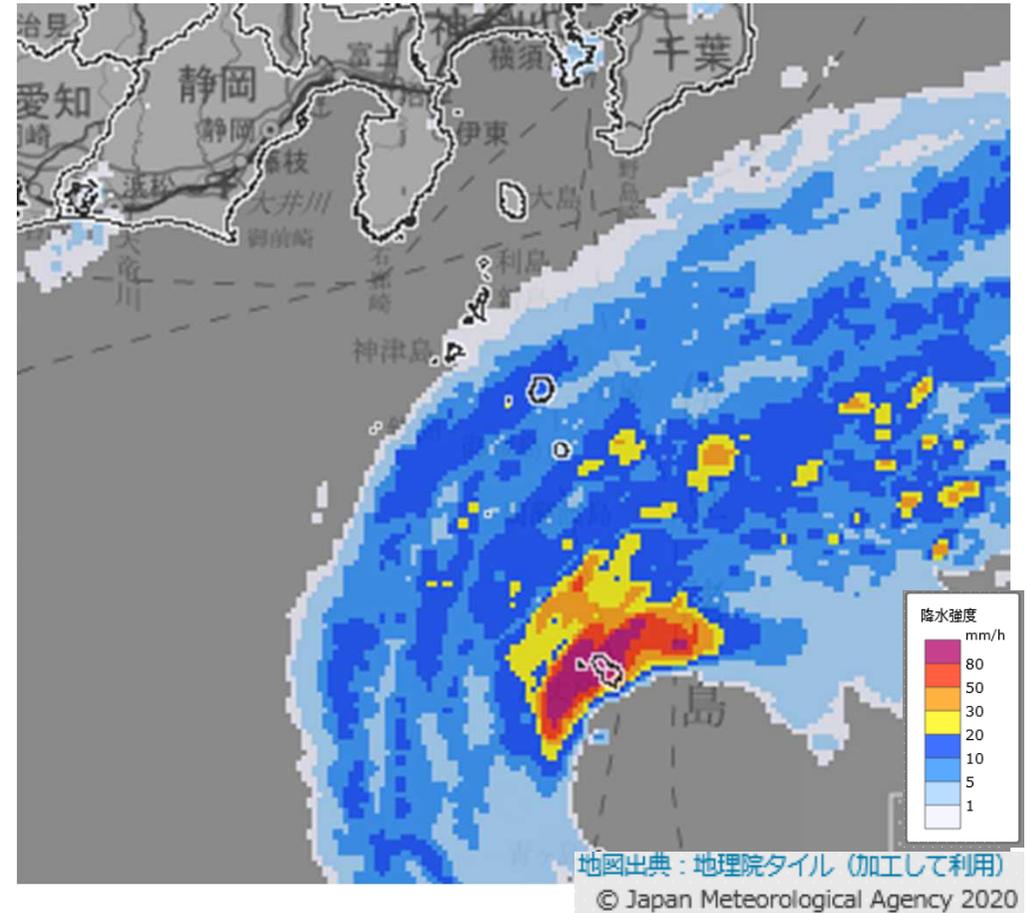


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements.inund>)

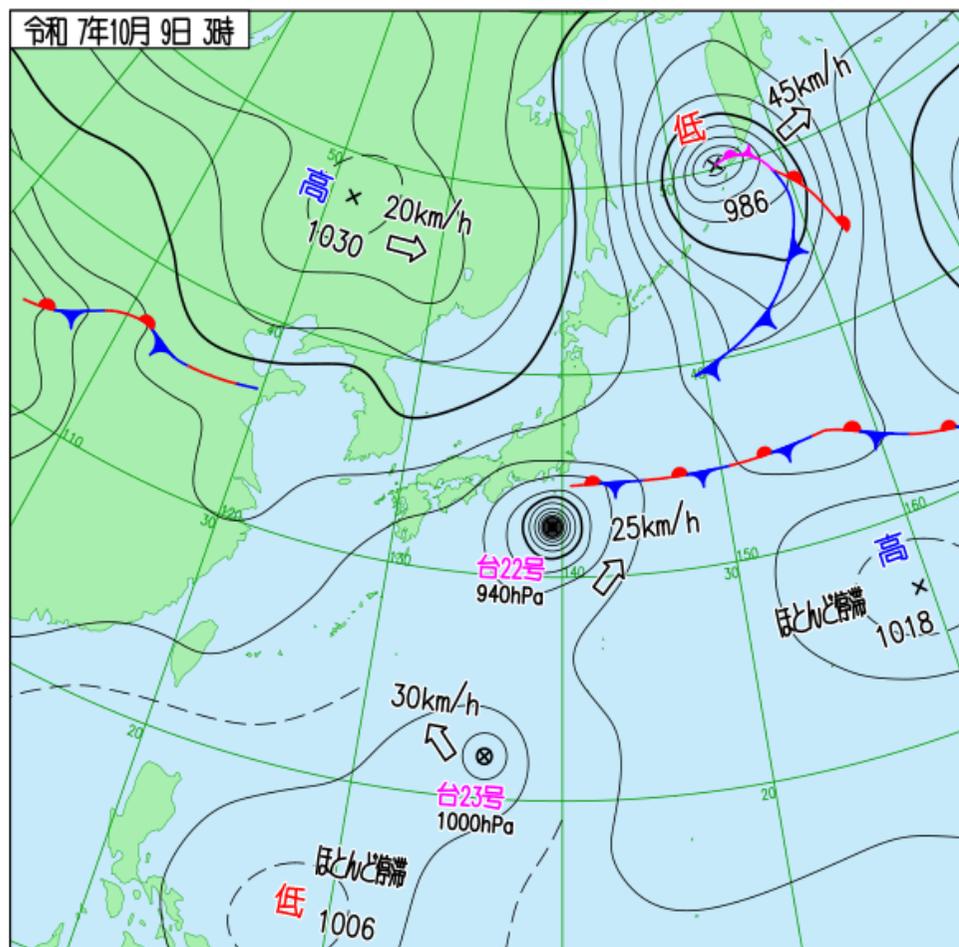


衛星画像  
(10月9日6時)

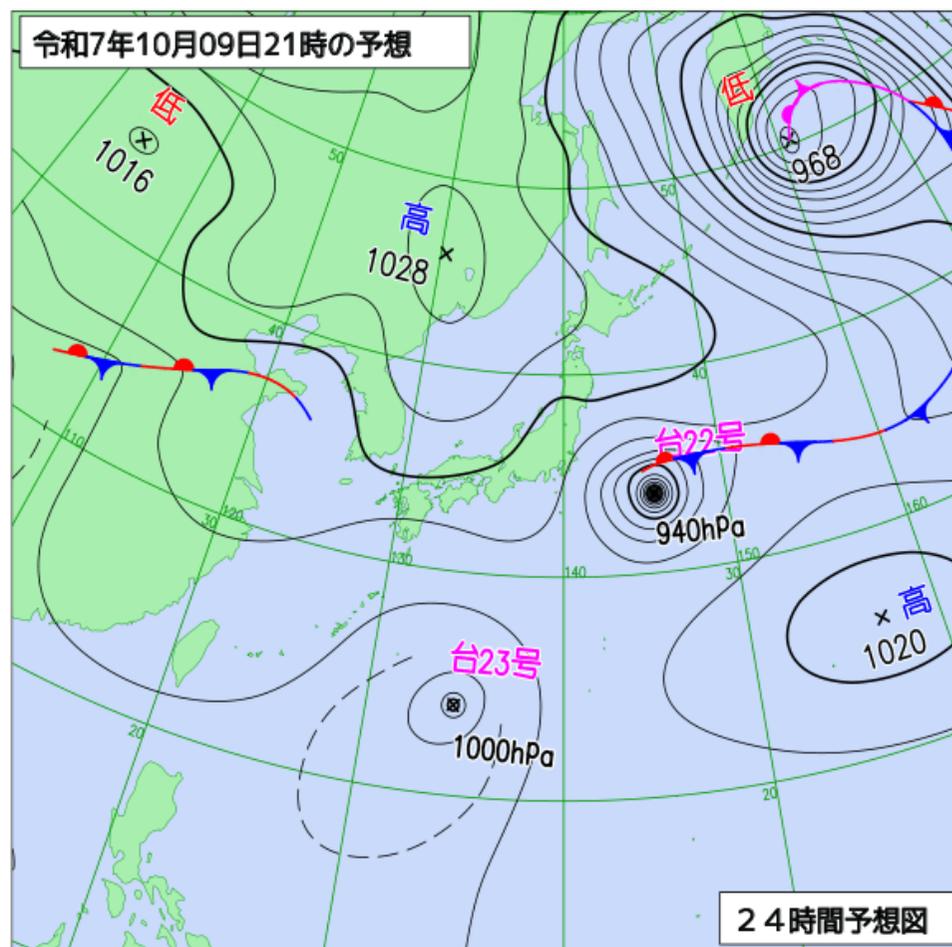


雨雲の様子  
(10月9日6時)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)



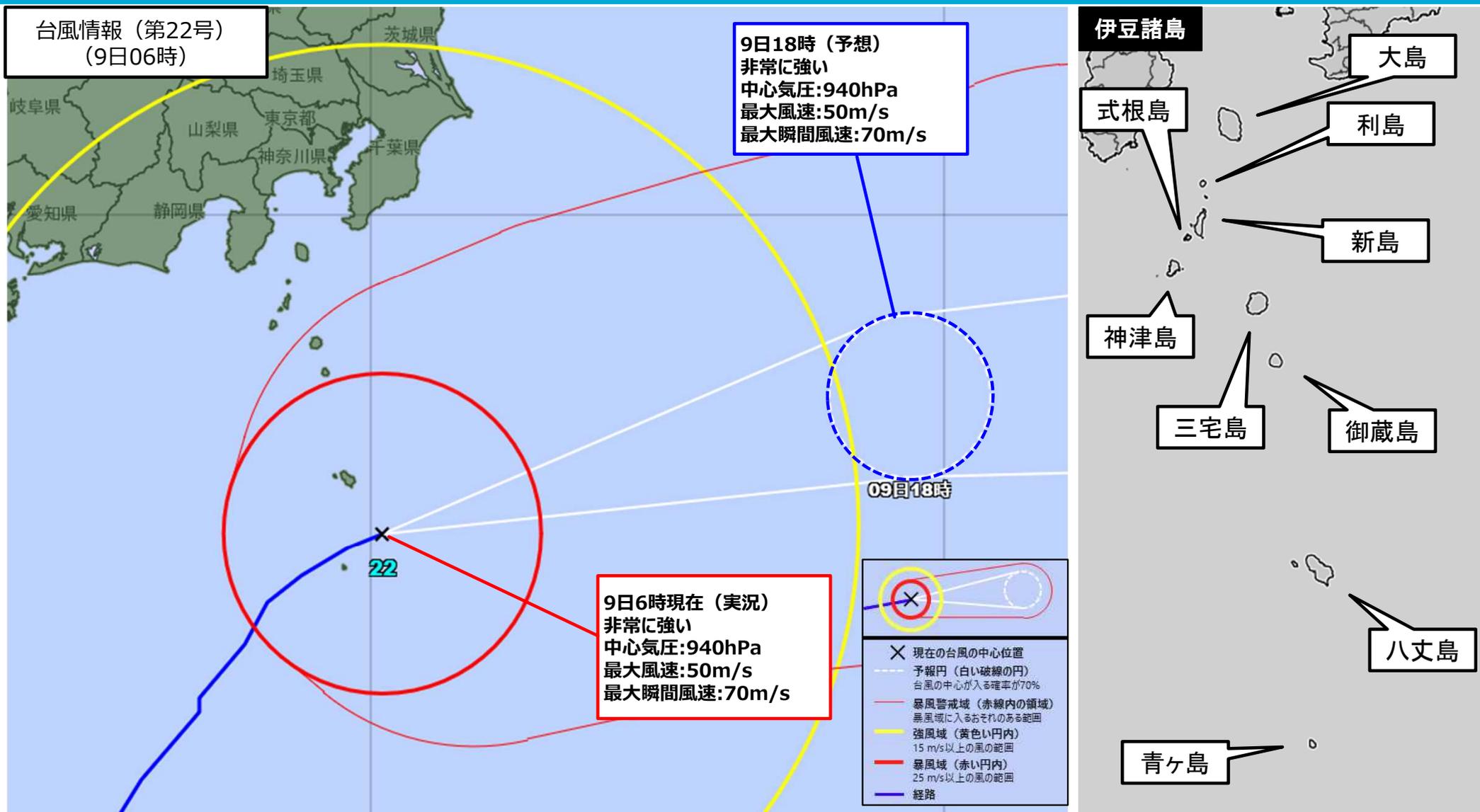
地上天気図  
(10月9日3時)



予想天気図  
(10月9日21時)

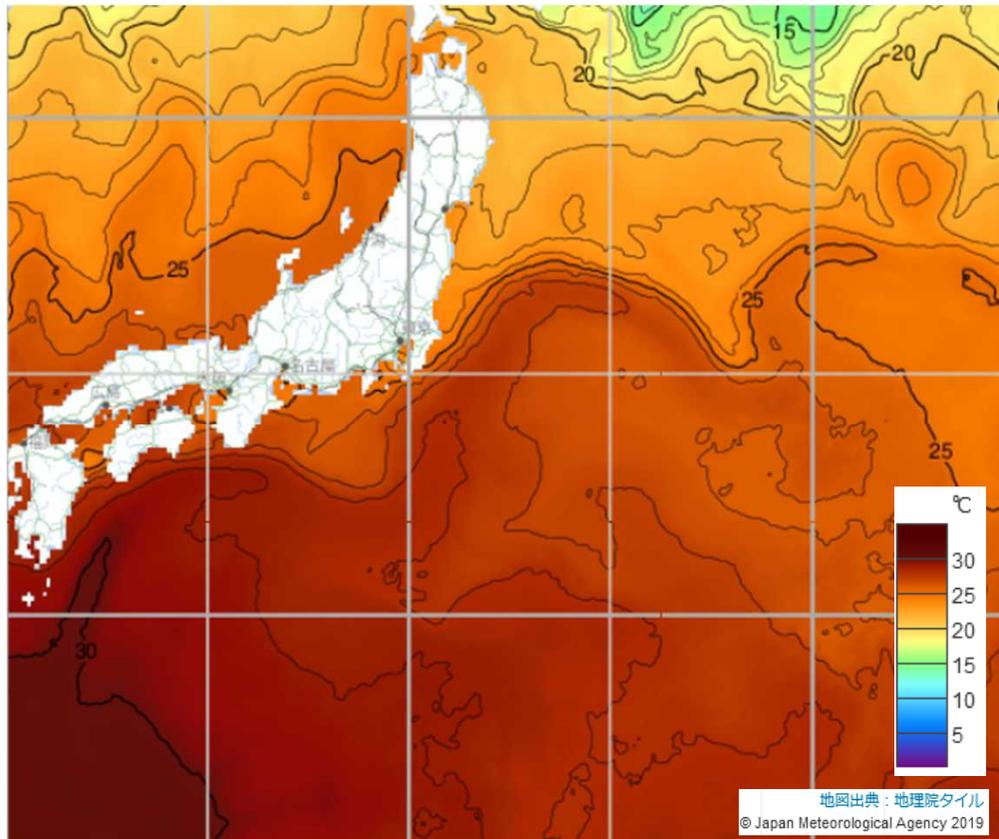
今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(天気図：[https://www.jma.go.jp/bosai/weather\\_map/](https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/))

# 台風の見通し

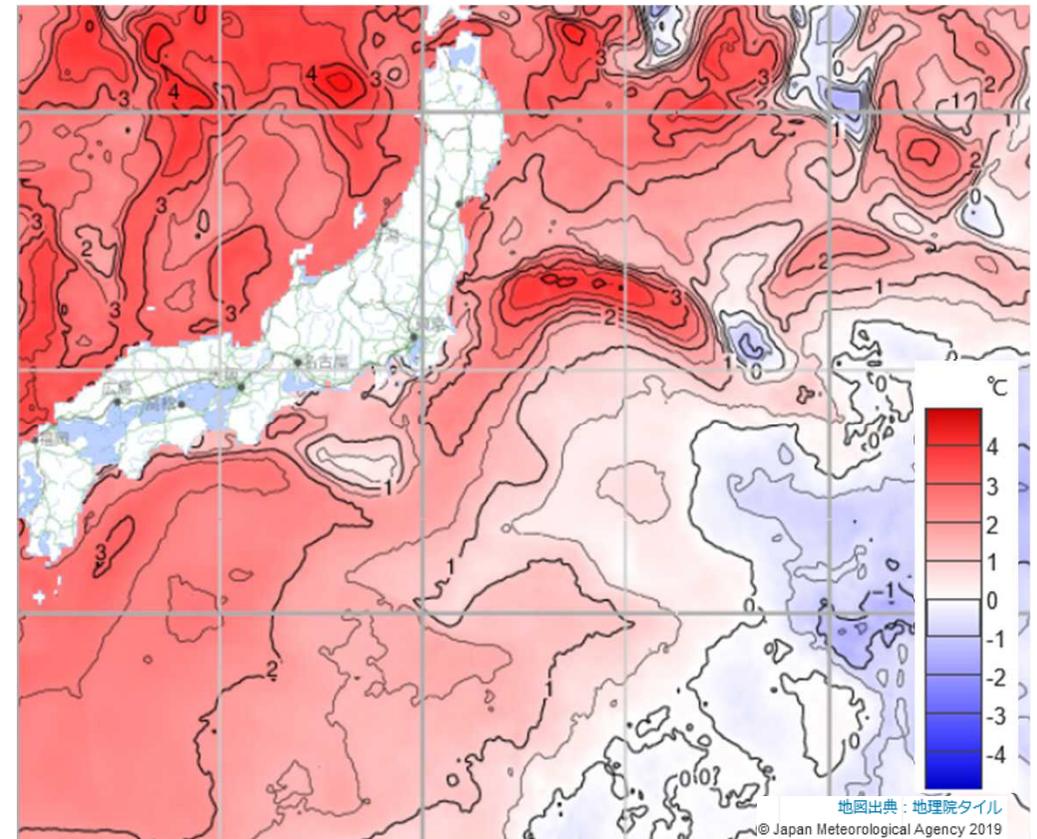


予報には誤差があり、台風が中心が予報円の中心点やそれを結ぶ線の上を必ず通るとは限らないことに留意。

今後の予想を含めた最新の情報は各地の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(台風情報: <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=typhoon>)

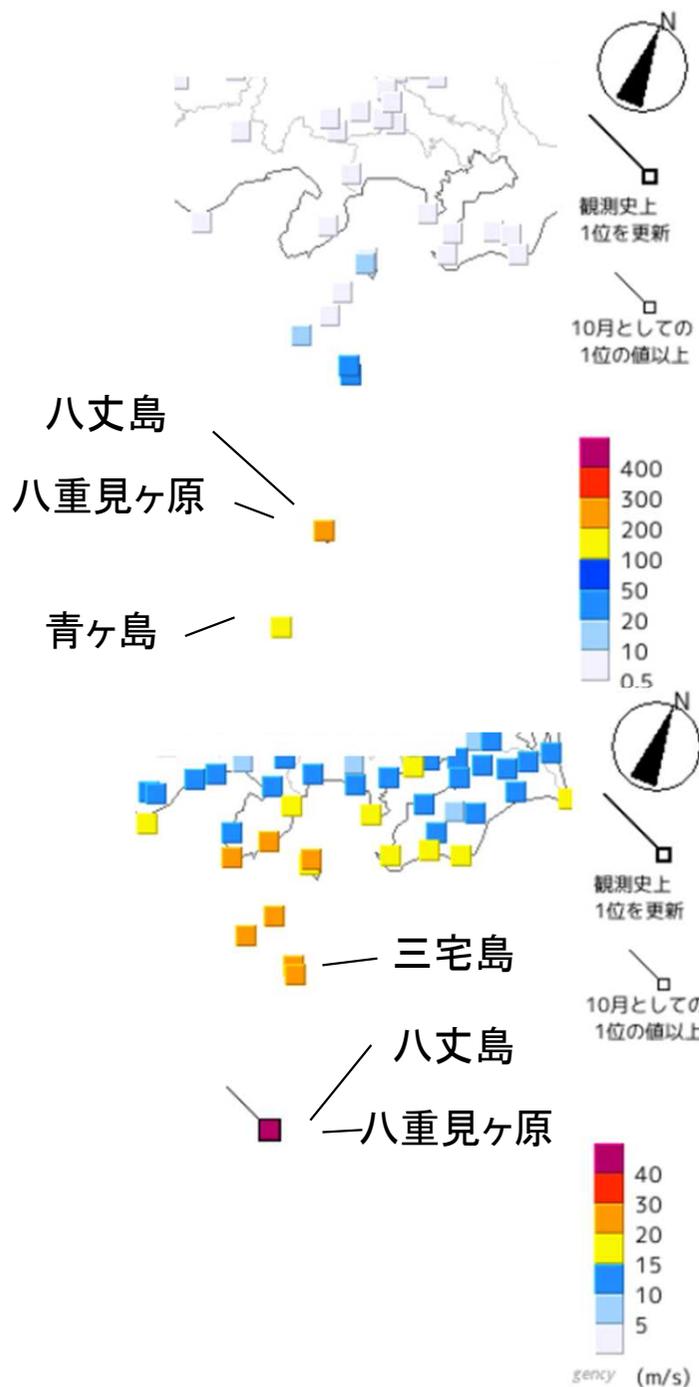


日別海面水温  
10月7日



日別海面水温 平年差  
10月7日

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)



## 10月8日～10月9日6時までの 24時間降水量期間最大値(主な地点)

都道府県	市町村	地点	期間最大値	
			mm	年月日 時分(まで)
東京都	八丈町	八丈島 (ハチジョウジマ)	283.5	2025/10/9 6:00
東京都	八丈町	八重見ヶ原 (ヤエミガハラ)	207.5	2025/10/9 6:00
東京都	青ヶ島村	青ヶ島 (アオガシマ)	119.5	2025/10/9 5:20

## 10月8日～10月9日5時までの 期間最大瞬間風速(主な地点)

都道府県	市町村	地点	期間最大値		
			m/s	風向	年月日 時分(まで)
東京都	八丈町	八丈島 (ハチジョウジマ)	48.0	北東	2025/10/09 04:43 ]
東京都	八丈町	八重見ヶ原 (ヤエミガハラ)	43.7	北東	2025/10/09 04:58 ]
東京都	三宅村	三宅島 (ミヤケジマ)	26.3	北東	2025/10/09 04:45 ]

※八重見ヶ原は、これまでの10月の1位の値を更新

## 【大雨の警報級の可能性】

9日5時時点

日		9日		10日
時		6～18	18～6	6～24
伊豆諸島	大雨			

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

## 【大雨の見通し】（単位：ミリメートル、多い所）

地域	10日6時までの 24時間雨量	11日6時までの 24時間雨量
伊豆諸島	180	50未満

### <大雨>

伊豆諸島では、引き続き9日昼前にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害発生  
の危険度が急激に高まる可能性があります。

線状降水帯が発生した場合は、局地的にさらに雨量が増えるおそれがあります。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

# 暴風・波浪の警報級となる可能性のある期間



## 【暴風】

9日5時時点

日		9日		10日
時		6~18	18~6	6~24
関東地方	暴風	■		
伊豆諸島	暴風	■		
東海地方	暴風	■		

## 【波浪】

日		9日		10日
時		6~18	18~6	6~24
関東地方	波浪	■	■	
伊豆諸島	波浪	■	■	
東海地方	波浪	■		

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
 (気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

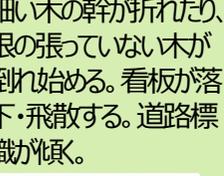
## 【暴風・高波の見通し】 (単位(風):メートル毎秒 (波):メートル)

地域	9日		10日	
	最大風速 (最大瞬間風速)	波の 高さ	最大風速 (最大瞬間風速)	波の 高さ
関東地方	25 (35)	7	10 (20)	4
伊豆諸島	50 (70)	12	12 (25)	5
東海地方	23 (35)	5	12 (25)	3

### <暴風・高波>

伊豆諸島では、これまでに経験したことのないような記録的な暴風・高波となるおそれがあります。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象情報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

平均風速 (m/s) おおよその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の 様子	建造物	おおよその 瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かつかまってい ないと立っていら れない。飛来物に よって負傷する おそれがある。 	細い木の幹が折れ たり、根の張って いない木が倒れ 始める。看板が 落下・飛散する。 道路標識が飛く。 	屋根瓦・屋根葺材 が飛散するもの がある。固定さ れていないプレ ハブ小屋が移動 、転倒する。 	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な 仮設足場が崩落 する。 	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラック が横転する。 	多くの樹木が倒 れる。電柱や街 灯で倒れるもの がある。ブロック 壁で倒壊するも のがある。 	外装材が広範囲 にわたって飛散 する。 	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊する ものがある。鉄 骨構造物で変形 するものがある。 	60

## 令和元年房総半島台風

- 主な最大風速（最大瞬間風速）の観測値
  - 千葉県千葉市 35.9m/s (57.5m/s)
  - 千葉県勝浦市 29.5m/s (40.8m/s)
  - 千葉県館山市 28.4m/s (48.8m/s)
  - 東京都神津島村 43.4m/s (58.1m/s)
- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。
  - ※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。
  - ※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ<中間報告書>（令和2年1月21日）

令和元年房総半島台風  
(気象庁職員撮影)



※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。  
 ※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。  
 ※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze\\_index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html)

## 【高潮】

9日5時時点

日		9日		10日
時		6~18	18~6	6~24
関東地方	高潮	■		

■ 可能性がある ■ 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。  
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



@JMA\_bousai  
気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様態などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやX（旧Twitter）をご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））

[https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/flow.pdf](https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/flow.pdf)

[https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3\\_hinanjouhou\\_guideline/pdf/point.pdf](https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf)

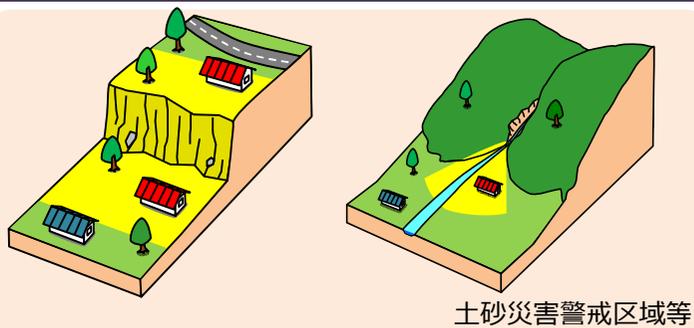
# (参考)大雨による災害への備え



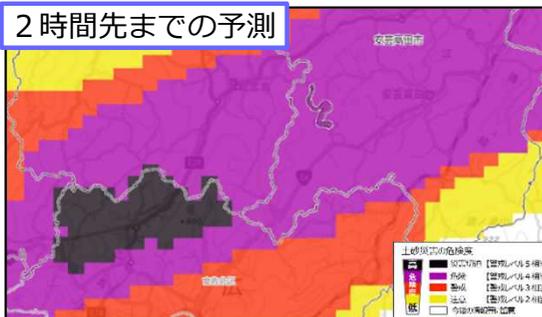
- ハザードマップ等により、土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の命に危険が及ぶおそれがある場所をあらかじめ確認しましょう。
- 土砂災害・浸水害・洪水災害の危険度がどこで高まる予測となっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図で確認することができます。
- 大雨により命に危険が及ぶおそれがある場所では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

## 命に危険が及ぶおそれがある場所

### 土砂災害



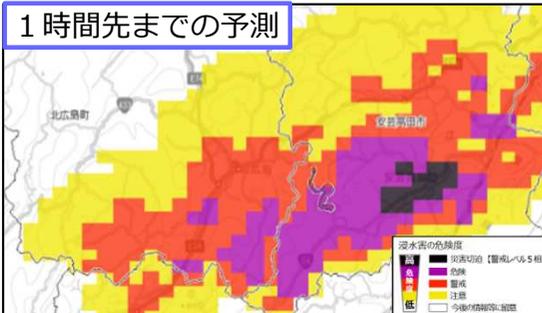
## キキクル（危険度分布）



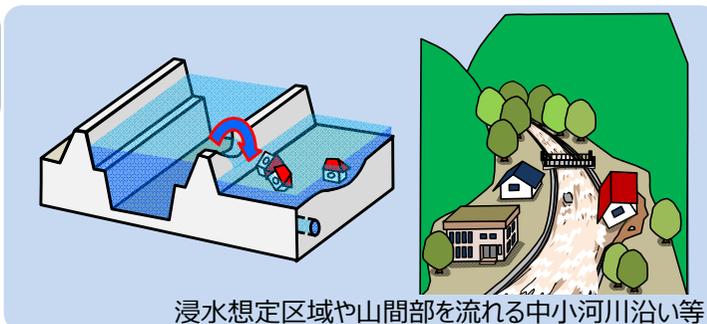
## 災害の例



### 浸水害



### 洪水災害



## 大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう  
**土砂災害が発生!**

崖崩れや土石流の発生を確認して  
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子  
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇!**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子  
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水!**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害  
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、  
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

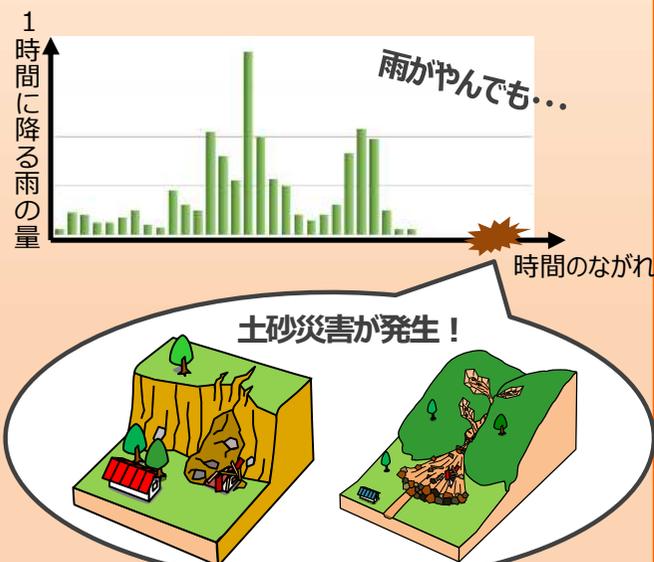
**安全に避難できる早い段階で避難開始を判断**することが重要!



## 大雨がやんでも…

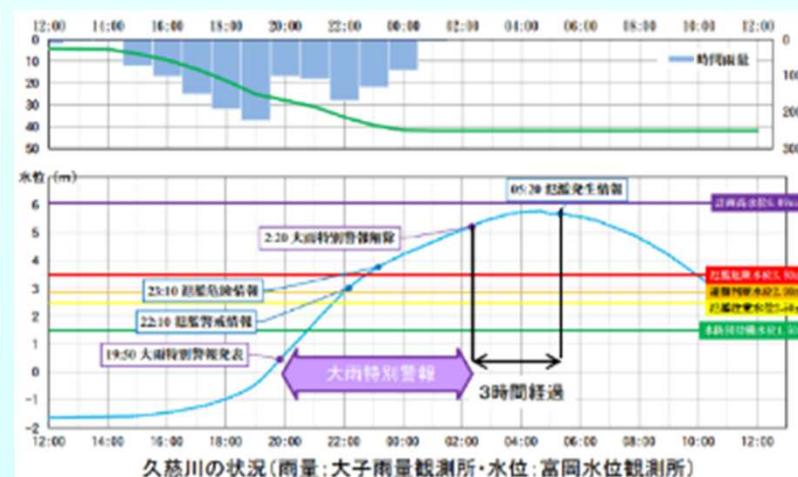
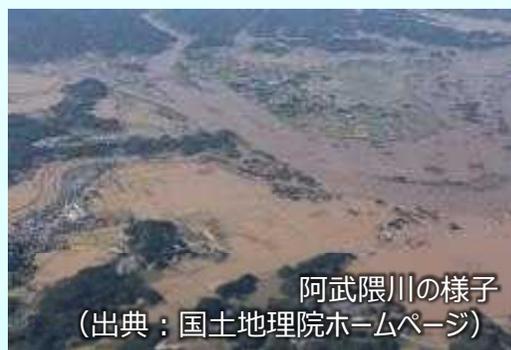
### 土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。



### 油断禁物！ 大川は時間差で増水

大川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越刃川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

**自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！**

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



## 位置づけ・役割

### <位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

### <役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

# (参考)5段階の警戒レベルと防災気象情報



気象庁等の情報 キキクル		市町村の対応		住民がとるべき行動	警戒レベル		
大雨特別警報	災害切迫	氾濫発生情報	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5		
<警戒レベル4までに必ず避難！>							
土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
※大雨警報 洪水警報	高潮警報に切り替える可能性が高い 注意報		警戒	氾濫警戒情報	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報		注意	氾濫注意情報	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
大雨注意報 洪水注意報					第1次防災体制 (連絡要員を配置)	災害への心構えを高める	1
早期注意情報 (警報級の可能性)					・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認		

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3 (高齢者等避難) に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。

([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame\\_push.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html))。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

# (参考)暴風による災害への備え

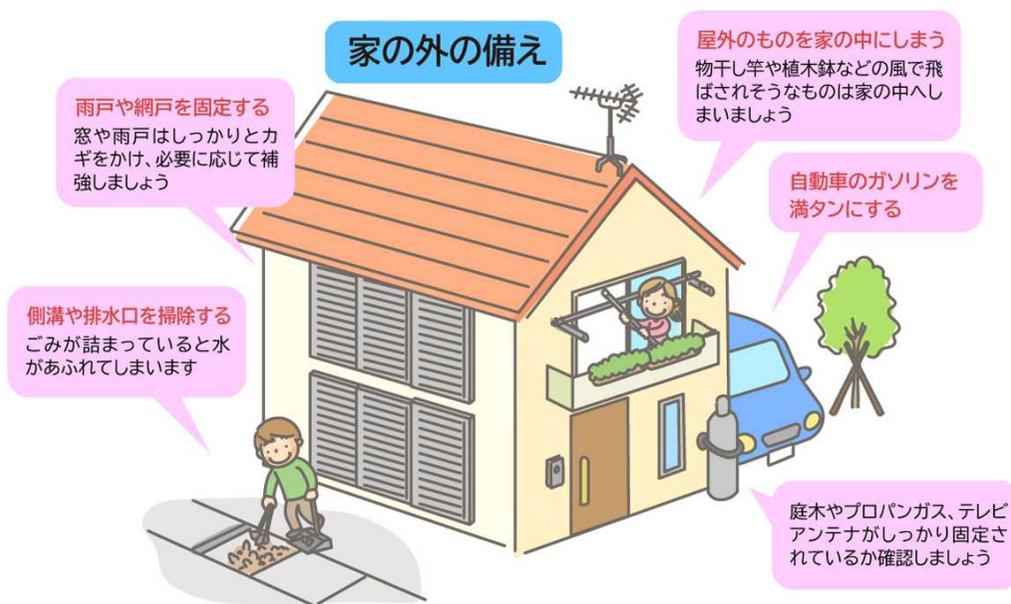


- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及びます。
- 特に土砂災害や洪水、高潮のおそれがある区域では、風雨が強まる前の早めのタイミングで対応をとることが重要です。
- 風雨が強まるタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。

〇〇市		今後の推移 (■警報級 □注意報級)									備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別		〇〇日									
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
暴風	風向風速 (矢印・メートル)	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10
		海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10

暴風警報

陸上では昼過ぎから風速20メートル



平均風速 (m/s) およその時速	人への影響 走行中の車	屋外・樹木の様子	建造物	およその瞬間風速 (m/s)
20~25 ~約90km/h	何かにつかまっていなくて立っていられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。	30
25~30 ~約110km/h			養生の不十分な仮設足場が崩落する。	40
30~35 ~約125km/h				
35~40 ~約140km/h	走行中のトラックが横転する。	多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。	外装材が広範囲にわたって飛散する。	50
40~ 約140km/h~			住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。	60

※ 平均風速は10分間の平均、瞬間風速は3秒間の平均です。

※ 人や物への影響は日本風工学会の「瞬間風速と人や街の様子との関係」を参考に作成しています。

※ 詳細は気象庁ホームページを御確認ください。 ([https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze\\_index.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/amekaze/amekaze_index.html))

## 平成30年台風第21号

- 大阪府田尻町関空島（関西空港）では最大風速46.5メートル、最大瞬間風速58.1メートルを観測。  
↓
- 死者14人、負傷者980人、住家全壊68棟、半壊833棟、一部損壊97,009棟等の被害が発生。  
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年8月20日現在）
- タンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生。  
※荒天時の走錨等に起因する事故の再発防止に係る有識者検討会 報告書（平成31年3月）
- 近畿地方を中心に最大停電戸数約224.7万軒の大規模停電が発生した。  
※台風21号による停電について（第56報）関西電力（平成30年9月10日）

## 令和元年房総半島台風

- 千葉県千葉市では最大風速35.9メートル、最大瞬間風速57.5メートルを観測。  
↓
- 千葉県を中心に、住家全壊391棟、半壊4,204棟、一部損壊72,279棟等の被害が発生。  
※総務省消防庁とりまとめ（令和元年12月23日現在）
- 鉄塔2基の倒壊、1,996本の電柱が倒壊・損傷により、千葉県を中心に最大停電戸数約93.5万軒の大規模停電が発生した。  
※令和元年台風15号における鉄塔及び電柱の損壊事故調査検討ワーキンググループ<中間報告書>（令和2年1月21日）



平成30年台風第21号  
（海上保安レポート2019より）



令和元年房総半島台風  
（気象庁職員撮影） 27

# (参考)高波・高潮による災害への備え



- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せることがあります。むやみに海岸には近づかないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからでは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。

## 波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市の警報・注意報 (今後の推移)										
年 月 日 時 分 発表										
〇〇市	22日							23日		備考
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	
大雨 (浸水)	30	50	50	50	50	50	50	60	60	予想される波の高さ
暴風	23	25	25	30	30	35	40	40	40	以後も警報級
波浪	8	8	9	9	10	10	10	10	11	以後も警報級 うねり
高潮	1.7	1.7	0.7	0.7	1.8	1.8	1.7	1.8	2.0	以後も警報級 ピークは3時頃
雷										以後も注意報級

■ 大雨特別警報  
 ■ 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報 \*1 高潮警報に切り替える可能性が高い  
 ■ 警報(高潮以外)・高潮注意報(\*1) \*2 上記以外の高潮注意報  
 ■ 注意報(高潮以外)・高潮注意報(\*2)  
 ■ 予想期間外

※潮位が上昇する前に暴風が吹く予想

※高潮や高潮と重なり合った高波による浸水に警戒

## 高潮時に浸水のおそれがある区域



## 高波や高潮による災害の事例



## 伊勢湾台風 (昭和34年)

- 伊良湖(愛知県渥美町)では最大風速45.4メートル、最大瞬間風速55.3メートルを観測。名古屋港では潮位389cmを観測。
- 死者4,697名、行方不明者401名、負傷者38,921名、住家全壊40,838棟、半壊113,052棟、床上浸水157,858棟、床下浸水205,753棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 紀伊半島沿岸一帯と伊勢湾沿岸では高潮、強風、河川の氾濫により甚大な被害を受け、特に愛知県では、名古屋市や弥富町、知多半島で激しい暴風雨の下、高潮により短時間のうちに大規模な浸水、三重県では桑名市などで同様に高潮の被害を受けた。

## 平成11年 (1999年) 台風第18号

- 牛深(熊本県牛深市)では最大風速27.7メートル、最大瞬間風速66.2メートルを観測。大浦(佐賀県)では潮位301cmを観測。
- 死者31名、負傷者1,218名、住家全壊338棟、半壊3,629棟、床上浸水4,895棟、床下浸水14,755棟等の被害が発生。 ※消防白書より
- 九州北部地方や中国地方瀬戸内海沿岸では、台風が通過時に著しい高潮となり、熊本県不知火町では高潮により12名が死亡した。



伊勢湾台風

(出典：国土交通省木曾川下流工事事務所『自然と人のかかわり－伊勢湾台風から40年－』)



平成11年 (1999年) 台風第18号

(出典：建設省九州地方建設局)

# (参考)突風や雷による災害への備え



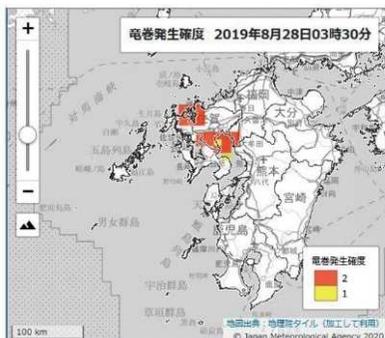
- 台風から離れた地域でも、竜巻などの激しい突風や落雷に注意が必要。
- 竜巻発生確度ナウキャストや雷ナウキャストなどの防災気象情報を活用し、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には身を守るための行動を。



日本版改良藤田スケールにおける階級と風速の関係  
～竜巻等の激しい突風によって起こり得る被害～

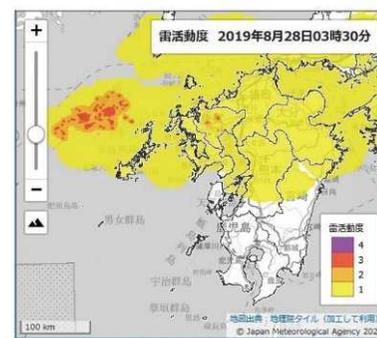
階級	風速 (3秒平均)	主な被害の状況(参考)
JEF0	25～38m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>物置が横転する。</li> <li>自動販売機が横転する。</li> <li>樹木の枝が折れる。</li> </ul>
JEF1	39～52m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅の粘土瓦が比較的広い範囲で浮き上がったりはく離れたりする。</li> <li>軽自動車や普通自動車が横転する。</li> <li>針葉樹の幹が折損する。</li> </ul>
JEF2	53～66m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅の小屋組(屋根の骨組み)が破損したり飛散したりする。</li> <li>ワンボックスの普通自動車や大型自動車が横転する。</li> <li>鉄筋コンクリート製の電柱が折損する。</li> <li>墓石が転倒する。</li> <li>広葉樹の幹が折損する。</li> </ul>
JEF3	67～80m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>木造の住宅が倒壊する。</li> <li>アスファルトがはく離れたり飛散したりする。</li> </ul>
JEF4	81～94m/s	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場や倉庫の大規模な庇の屋根ふき材がはく離れたり脱落したりする。</li> </ul>
JEF5	95m/s～	<ul style="list-style-type: none"> <li>低層鉄骨系プレハブ住宅が著しく変形したり倒壊したりする。</li> </ul>

## 竜巻発生確度 ナウキャスト



発生確度	
2	竜巻などの激しい突風が発生する可能性があり注意が必要である。 適中率：7～14%程度 捕捉率：50～70%程度 発生確度2となっている地域に竜巻注意情報が発表される。
1	竜巻などの激しい突風が発生する可能性がある。 適中率：1～7%程度 捕捉率：80%程度

## 雷ナウキャスト



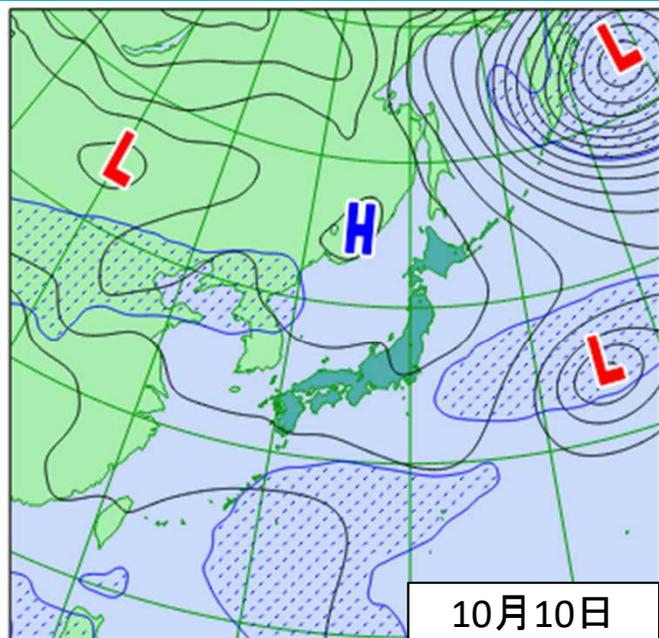
活動度	雷の状況	
4	激しい雷	落雷が多数発生している。
3	やや激しい雷	落雷がある。
2	雷あり	雷光が見えたり雷鳴が聞こえたりする。落雷の可能性が高くなっている。
1	雷可能性あり	現在は雷は発生していないが、今後落雷の可能性はある。

「伊勢湾台風」級(**中心気圧930hPa以下又は最大風速50m/s以上**)の台風や同程度の温帯低気圧が来襲する場合に、特別警報を発表します。ただし、**沖縄地方、奄美地方及び小笠原諸島については、中心気圧910hPa以下又は最大風速60m/s以上**とします。

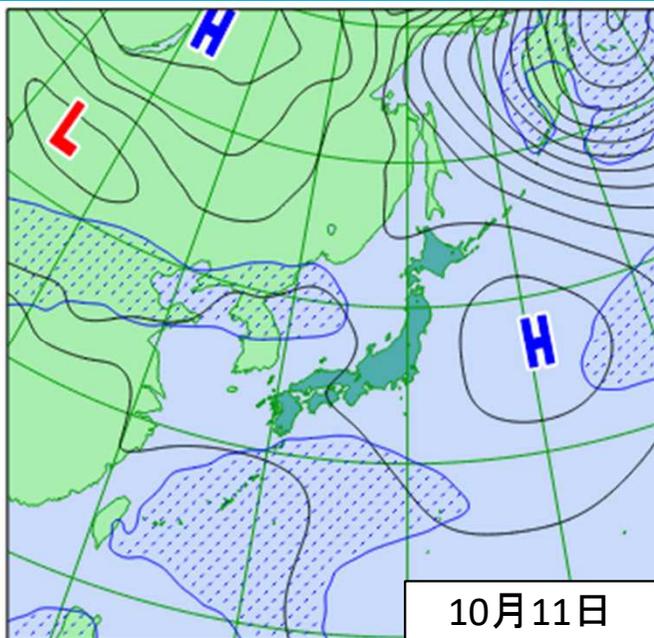
台風については、指標（発表条件）の中心気圧又は最大風速を保ったまま、中心が接近・通過すると予想される地域（予報円がかかる地域）における、暴風・高潮・波浪の警報を、特別警報として発表します。

温帯低気圧については、指標（発表条件）の最大風速と同程度の風速が予想される地域における、暴風（雪を伴う場合は暴風雪）・高潮・波浪の警報を、特別警報として発表します。

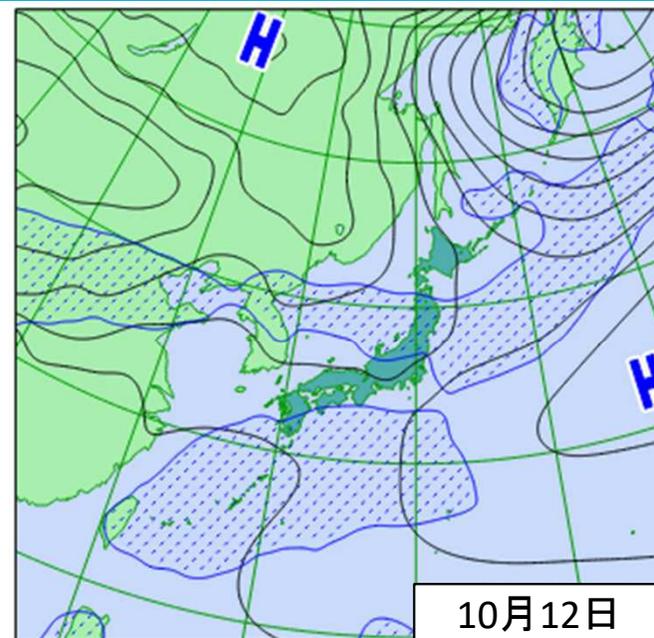
# (参考)今後一週間の見通し



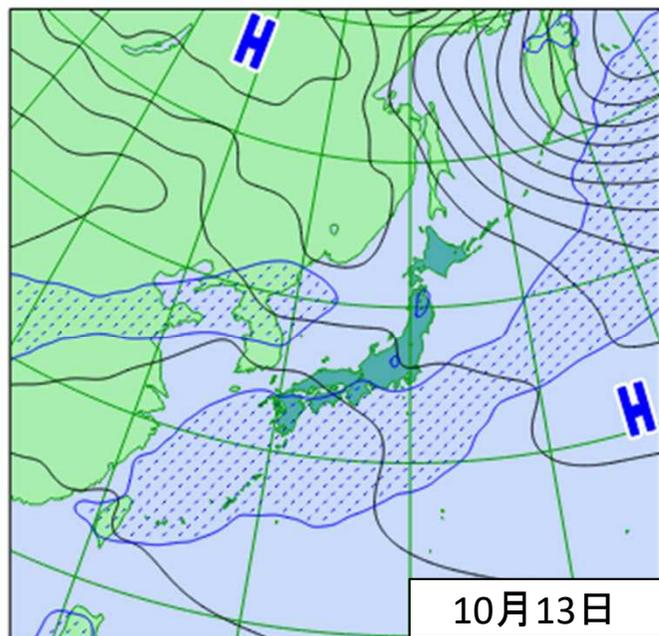
SURFACE PRESS, PRECIP(48-72)



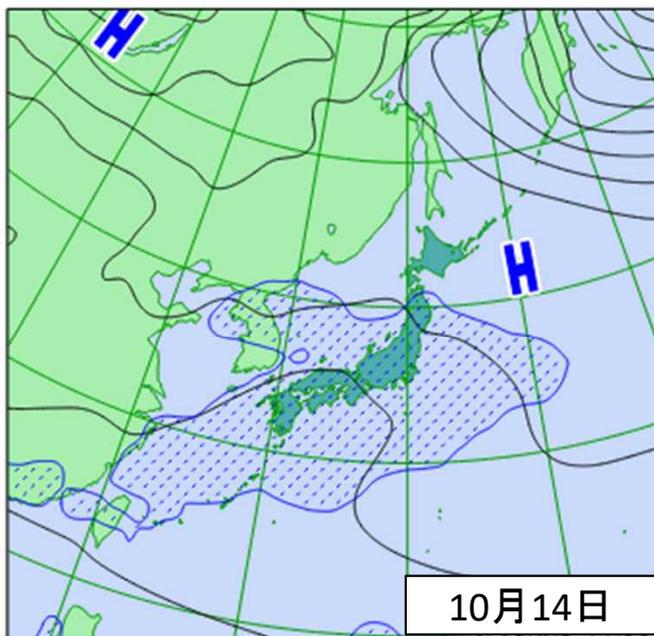
SURFACE PRESS, PRECIP(72-96)



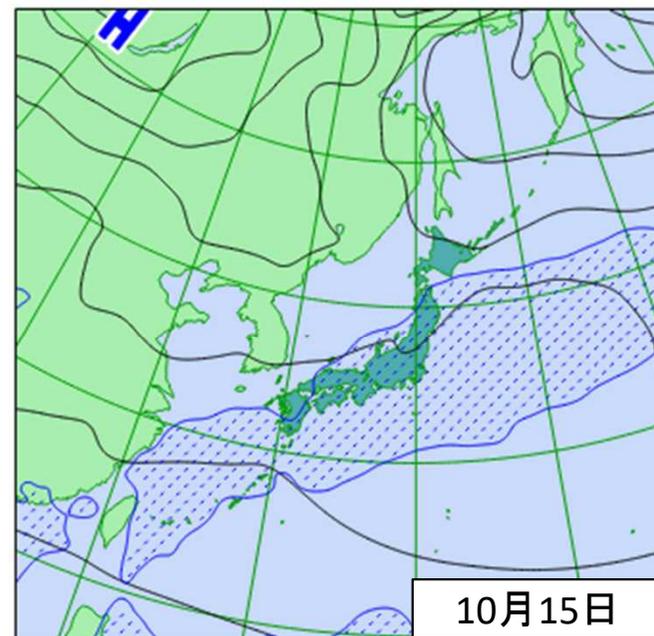
SURFACE PRESS, PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS, PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS, PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS, PRECIP(168-192)

※ハッチ域は降水が予想される地域